

# トラクタ ロータリー後付け 台形畦整形器 DVシリーズ (標準15型・幅広20型)

耕うんロータリーに後付けできるから**初期投資**も抑えられます♪

**注意点**：後付けならではの、**取付要項**と、装着に伴う**作業幅制限**などが決まっていますので、購入前にしっかりと確認してください。

**取付要項**：トラクター耕うんロータリーのツールバー(デブスピーム)に装着します。

- ① 中央ヒッチ部が**60mm角バー**になっている事
- ② 中央ヒッチ部のピン穴が**芯々100mm**になっている事
- ③ 尾輪耕深調整ハンドルで**上下に可動**できる事
- ④ ツールバーの**前後出し入れ**ができる事
- ⑤ ロータリーカバーが地上から**45cm以上**に持ち上げられる事



一般的な耕うんロータリーは上記の規格になっていますので、殆どの機種に装着ができます  
**注意**：ツールバーが無い物や、固定式、または中央部が丸パイプの場合は装着できません

耕うんロータリーの更に後ろに装着するのでフロントウエイトが必要になる場合がございます。  
整形器のみ15型65kg・20型70kg、整形器+マルチャーで15型94kg・20型100kgとなります。  
20馬力前半で車体が軽い場合は40~60kgほどのウエイトが必要になる場合がございます。

**注意**：後付け整形器は耕うんロータリーよりも**み出した使用はできません**

整形器の両サイドに溝深い板が片側13cmずつありますので、**ロータリー耕幅よりも26cm短いのが「最大うね裾幅」**になります  
ロータリー耕幅が大きい分にはDVの装着・作業はできますが、ロータリーと整形器の幅を合わせないと、  
両サイドから土が漏れ出して、残土ができてしまいます。隣接畝も離れてしまいますのでご注意ください。

DVの装着には作業姿勢取りなど若干の手間がかかります。ロータリーの耕幅に左右されてしまう畝寸法が不便な場合には  
脱着も簡単なクイックヒッチも搭載されている**ロータリー体型の「ラクーネロータリ ハイジ ATR-HTM1」**をお奨めいたします。



ハイジ  
動画  
QRコード



DV 動画  
QRコード



ロータリーと整形器の幅を合わせると一番きれいにできます。



整形器溝幅 約13cm  
引き出すと最大20cm

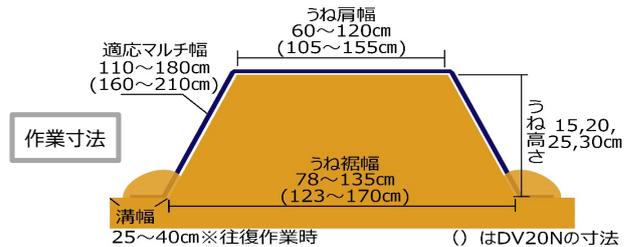


ロータリーよりも整形器の幅が短い場合は残土ができて隣接畝も離れてしまいます。

**整形器の全幅は、うね裾幅 + 26cmとなります。** ㊟溝幅延長板を引き出さない場合です。  
**マルチャーの覆土ディスクまでの全幅の場合、うね裾幅 + 約50cmとなります。**

「うね肩幅」と「うね裾幅」の関係性は以下となります。

うね高さ30cmの時	うね肩幅 +	36cm	=うね裾幅
うね高さ25cmの時		30cm	
うね高さ20cmの時		24cm	
うね高さ15cmの時		18cm	



**マルチシート幅と、畝のサイズを合わせる事が重要です。** 合わせないと作業中にマルチがスポンジ車輪から外れる事があります。



移植機などで天端が真っ平らな方がいい場合は、オプション「平らな整地板 TSS-D」をご購入下さい



【うねサイズに合わせたマルチシートの適合計算方法】

**うね肩幅 + (高さ × 2) + (マルチの覆土幅10cm × 2) = マルチシートサイズ**  
計算例：うね肩幅75cm + (うね高さ20cm × 2) + 覆土幅20cm = 135cmマルチシート

市販のマルチサイズは95cm・110cm・135cm・150cm・180cm・210cmなどがあります。  
ぴったりの適合サイズが無い場合、短過ぎても、長過ぎても不具合が生じます。  
基本、**覆土幅は左右10cmずつ必要!** 許容範囲は片側でプラス5cm、マイナス2.5cmまでにしてください。

㊟うね高さ30cm、うね肩幅1m以上にした場合など、実際の畝が膨れますので、マルチシートのサイズを計算上から**+10~15cm必要**になる場合がございます。  
(弊社整地板は、まっ平らでは無く"中高"になっており、うね肩幅が広がるほど畝が膨れます)  
(うね高さも実際は斜辺の長さが取られます。例:うね高さ30cmの時は斜辺は34cmほどになっています)